

(仮称) 神戸市中央区元町通7丁目計画

計画の概要

1. 景観影響建築行為予定者の氏名及び住所

大阪ガス都市開発株式会社 代表取締役社長 友田 泰弘
大阪市中央区平野町4丁目1番2号

2. 設計者の氏名、住所及び連絡先

株式会社 聖建社建築事務所 代表取締役 栞 雅之
大阪市西区江戸堀1丁目2番4号

3. 計画名称

(仮称) 神戸市中央区元町通7丁目計画

4. 景観影響建築行為の概要

- | | |
|------------|----------------|
| (1) 所在及び地番 | 中央区 元町通7丁目3番2 |
| (2) 敷地面積 | 約 395 平方メートル |
| (3) 建築面積 | 約 288 平方メートル |
| (4) 延べ面積 | 約 3,920 平方メートル |
| (5) 高さ | 約 44.0 メートル |
| (6) 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| (7) 階数 | 地上15階／地下0階 |
| (8) 建物用途 | 共同住宅 |



完成予想図

協議の経過及び内容（計画段階）

1. 計画段階デザイン協議の申出年月日

令和7年6月4日

2. 景観アドバイザー専門部会の開催年月日

令和7年7月7日

3. 良好な景観の形成に関する評価を神戸市長から通知した年月日及び内容

令和7年8月14日

- ・低層部について、より重厚な佇まいになるようデザインを検討してください。
- ・周辺の景観と調和するよう、色彩の明度差を抑えてください。
- ・敷地西側について、夜間歩行者の安全にも資する照明計画を検討してください。

4. 神戸市長からの評価に対する景観影響建築行為予定者からの回答年月日及び内容

令和7年7月31日

- ・低層部の仕上を見直し、極力シンプルな造形にまとめ、より重厚感のある佇まいになるよう検討する。具体的に 低層部 の石状吹付 吹付 T C) 部分で、2階バルコニー垂れ壁下方、リブでのエンドを取止め、同仕上げのままマリオン下端部で止める。
- ・周辺の景観と調和するよう、色彩の明度差を抑える。具体的に 室外機置場のアルミルーバー手摺の明度差が激しいことの見直し。標準色 が選定しているブロンズ以外では色彩がかなり薄くなり建物外観のアクセントとして機能しなくなり、全体がぼやとした印象となる。このアルミルーバー手摺と他色彩との明度差が激しいことを緩和するため、中間色である吹付 T1(2.5Y7/1) を若干色味濃くして対応する。※※(2.5Y6.5/ 程度)
- ・敷地西側について、夜間歩行者の安全に配慮した照明計画とする。具体的に 緑地帯部分の庭園灯を道路際までしっかり照らせるよう計画。また、周辺の景観に配慮し電球色にて統一する。

協議の経過及び内容（設計段階）

1. 設計段階デザイン協議の申出年月日

令和7年7月31日

2. 設計段階デザイン協議の申出があった旨の公告年月日

令和7年8月12日

3. 設計段階デザイン協議の申出に係る書面等の縦覧期間及び場所

令和7年8月12日から令和7年8月25日まで

神戸市都市局景観政策課窓口

4. 景観アドバイザー専門部会の開催年月日

令和7年9月1日

5. 良好な景観の形成に関する評価を神戸市長から通知した年月日及び内容

令和7年9月16日

- ・色彩について、よりまちなみの景観になじむよう検討してください。
- ・東側植栽帯について、樹種選定の精査を行い、より魅力的に見える照明計画を検討してください。

6. 神戸市長からの評価に対する景観影響建築行為予定者からの回答年月日及び内容

令和8年3月31日

- ・ルーバー手摺等の色彩を抑え(淡色)、全体的な色彩との明暗差を極力少なくし景観になじむようにいたします。
- ・樹種選定について一部見直し、圧迫感がなくバランスの取れた樹高となるよう精査をし、照明計画についてもより樹木が映える計画となるよう検討します。

7. 協議の成立年月日

令和8年4月13日